

足立区立小・中学校の 適正規模・適正配置の実現に向けて

～次世代へつなぐ適正規模・適正配置のガイドライン～

【変更点对照表】

NO	ページ	変更前	変更後
1	目次 第1章	適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み <u>… 1 ページ</u>	適正規模・適正配置に向けたこれまでの取り組み
2	目次 第1章 1		<u>「昭和62年度の答申」以降の方針… 1 ページ</u>
3	目次 第1章 2		<u>「昭和62年度の答申」以降の主な適正規模・適正配置に関する統合等実施校… 2 ページ</u>
4	目次 第3章	第3章 適正配置の考え方	第3章 適正配置の考え方 <u>(変更無し)</u>
5	目次 第5章	学校更新の基本的な考え方	学校 <u>施設</u> 更新の基本的な考え方
6	目次 第6章 1	適正規模・適正配置事業に取り組むエリア <u>図</u>	適正規模・適正配置事業に取り組むエリア
7	リード文 4段落 1行目	足立区の総人口は <u>69万人（令和2年5月1日現在）</u> を 超え	足立区の総人口は <u>70万人（令和7年4月1日現在）</u> を 超え
8	9頁 グラフ令和5年度 （ ）内人数	<u>42, 549人</u>	<u>47, 278人</u>
9	10頁 1節	学校更新の基本的な考え方	学校 <u>施設</u> 更新の基本的な考え方
10	10頁 8～9行目	今後は、労務費や材料費の高騰、猛暑を <u>考慮</u> した <u>工期</u> 設定などを考慮し、工事費を <u>12億円</u> 、 <u>工期期間を4～5年に見直します。</u>	今後は、労務費や材料費の高騰、猛暑を <u>想定</u> した <u>工事</u> 設定などを考慮し、工事費を <u>1校あたり16億円</u> 、 <u>工事期間4年を目安とします。</u>
11	10頁 保全工事計画の表	保全工事計画 工事費 これまでの計画 9億円 今後の計画 <u>12億円</u> 工事期間 今後の計画 <u>4～5年間</u>	保全工事計画 <u>(1校あたり)</u> 工事費 これまでの計画 9億円 <u>(3億円／年×3年)</u> 今後の計画 <u>16億円（4億円／年×4年）</u> 工事期間 今後の計画 <u>4年間</u>

NO	ページ	変更前	変更後
12	1 2 頁 綾瀬小の表	工事費 <u>62.9</u> 億円 台帳面積 <u>13,597</u> m ² 工事単価 <u>47.3</u> 万円/m ²	工事費 <u>64.2</u> 億円 台帳面積 <u>13,241</u> m ² 工事単価 <u>48.5</u> 万円/m ²
13	1 2 頁 東綾瀬中の表	台帳面積 <u>14,674</u> m ² 工事単価 <u>47.5</u> 万円/m ²	台帳面積 <u>14,768</u> m ² 工事単価 <u>47.3</u> 万円/m ²
No.14～29 は耐用年数評価前後のコストを改めて精査し、関連経費を一部修正			
14	1 3 頁 4 行目	総額 <u>1,127.8</u> 億円にのぼる見込みでした（9 年間の平均では <u>125.3</u> 億円）	総額 <u>1,180.2</u> 億円にのぼる見込みでした（9 年間の平均では <u>131.1</u> 億円）
15	1 3 頁 7～8 行目	約 <u>39.3</u> %減の総額 <u>684.8</u> 億円となり、年平均では <u>76.1</u> 億円	約 <u>35.7</u> %減の総額 <u>758.8</u> 億円となり、年平均では <u>84.3</u> 億円
16	1 3 頁 グラフ	従前の改修計画の施設関連経費 9 年間の総額： <u>1,127.8</u> 億円 9 年間の平均： <u>125.3</u> 億円/年	従前の改修計画の施設関連経費 9 年間の総額： <u>1,180.2</u> 億円 9 年間の平均： <u>131.1</u> 億円/年
17	1 3 頁 グラフ	今後の施設関連経費 9 年間の総額： <u>684.8</u> 億円 9 年間の平均： <u>76.1</u> 億円/年	今後の施設関連経費 9 年間の総額： <u>758.8</u> 億円 9 年間の平均： <u>84.3</u> 億円/年
18	1 3 頁 グラフ	削減額・割合 平均： <u>49.2</u> 億円 総額： <u>443.0</u> 億円 割合：約 <u>39.3</u> %	削減額・割合 平均： <u>46.8</u> 億円 総額： <u>421.4</u> 億円 割合：約 <u>35.7</u> %
19	1 3 頁 グラフ	従前の年平均経費（ <u>125.3</u> 億円） 今後の年平均経費（ <u>76.1</u> 億円） 従前の改修計画で進めた場合に必要となる経費	従前の年平均経費（ <u>131.1</u> 億円） 今後の年平均経費（ <u>84.3</u> 億円） 従前の改修計画で進めた場合に必要となる経費 <u>差額</u>

NO	ページ	変更前	変更後
20	1 4 頁 R 6	大規模改修工事（評価後） <u>2 4</u> （増減額） <u>0</u> 改築工事（評価前・後） <u>4 9</u> 合計（評価前） <u>7 6 . 3</u> （評価後） <u>7 6 . 3</u> （増減額＝増減額合計） <u>0</u>	大規模改修工事（評価後） <u>3 2</u> （増減額） <u>8</u> 改築工事（評価前・後） <u>3 0 . 6</u> 合計（評価前） <u>5 7 . 9</u> （評価後） <u>6 5 . 9</u> （増減額＝増減額合計） <u>8</u>
21	1 4 頁 R 7	大規模改修工事（評価後） <u>2 4</u> （増減額） <u>0</u> 改築工事（評価前・後） <u>2 5</u> 合計（評価前） <u>5 3</u> （評価後） <u>5 3</u> （増減額＝増減額合計） <u>0</u>	大規模改修工事（評価後） <u>3 2</u> （増減額） <u>8</u> 改築工事（評価前・後） <u>4 2</u> 合計（評価前） <u>7 0</u> （評価後） <u>7 8</u> （増減額＝増減額合計） <u>8</u>
22	1 4 頁 R 8	大規模改修工事（評価後） <u>1 8</u> （増減額） <u>0</u> 合計（評価後） <u>3 7 . 6</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 3 . 1</u>	大規模改修工事（評価後） <u>2 4</u> （増減額） <u>6</u> 合計（評価後） <u>4 3 . 6</u> （増減額＝増減額合計） <u>2 . 9</u>
23	1 4 頁 R 9	大規模改修工事（評価後） <u>1 8</u> （増減額） <u>0</u> 改築工事（評価前・後） <u>4 1</u> 合計（評価前） <u>6 8 . 8</u> （評価後） <u>6 4 . 4</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 4 . 4</u>	大規模改修工事（評価後） <u>2 4</u> （増減額） <u>6</u> 改築工事（評価前・後） <u>2 4</u> 合計（評価前） <u>5 1 . 8</u> （評価後） <u>5 3 . 4</u> （増減額＝増減額合計） <u>1 . 6</u>

NO	ページ	変更前	変更後
24	1 4 頁 R 1 0	大規模改修工事（評価後） <u>1 5</u> （増減額） <u>△ 3</u> 改築工事（評価前・後） <u>5 0</u> 合計（評価前） <u>7 7 . 6</u> （評価後） <u>7 0 . 2</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 7 . 4</u>	大規模改修工事（評価後） <u>2 0</u> （増減額） <u>2</u> 改築工事（評価前・後） <u>8 4</u> 合計（評価前） <u>1 1 1 . 6</u> （評価後） <u>1 0 9 . 2</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 2 . 4</u>
25	1 4 頁 R 1 1	大規模改修工事（評価後） <u>2 4</u> （増減額） <u>0</u> 改築工事（評価前） <u>1 3 8</u> （評価後） <u>5 3</u> （増減額） <u>△ 8 5</u> 合計（評価前） <u>1 7 2 . 4</u> （評価後） <u>8 1 . 5</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 9 0 . 9</u>	大規模改修工事（評価後） <u>3 2</u> （増減額） <u>8</u> 改築工事（評価前） <u>2 0 8 . 8</u> （評価後） <u>7 0</u> （増減額） <u>△ 1 3 8 . 8</u> 合計（評価前） <u>2 4 3 . 2</u> （評価後） <u>1 0 6 . 5</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 1 3 6 . 7</u>
26	1 4 頁 R 1 2	大規模改修工事（評価後） <u>2 7</u> （増減額） <u>3</u> 改築工事（評価前） <u>1 6 9</u> （評価後） <u>9 6</u> （増減額） <u>△ 7 3</u> 合計（評価前） <u>2 0 5 . 1</u> （評価後） <u>1 2 8 . 8</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 7 6 . 3</u>	大規模改修工事（評価後） <u>3 6</u> （増減額） <u>1 2</u> 改築工事（評価前） <u>1 5 2</u> （評価後） <u>6 2</u> （増減額） <u>△ 9 0</u> 合計（評価前） <u>1 8 8 . 1</u> （評価後） <u>1 0 3 . 8</u> （増減額＝増減額合計） <u>△ 8 4 . 3</u>

NO	ページ	変更前	変更後
27	1 4 頁 R 1 3	大規模改修工事（評価後） <u>3 0</u> （増減額） <u>6</u> 改築工事（評価前） <u>2 2 4</u> （評価後） <u>7 1</u> （増減額） Δ <u>1 5 3</u> 合計（評価前） <u>2 6 0. 8</u> （評価後） <u>1 0 7. 2</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>1 5 3. 6</u>	大規模改修工事（評価後） <u>4 0</u> （増減額） <u>1 6</u> 改築工事（評価前） <u>1 7 1. 6</u> （評価後） <u>7 2. 4</u> （増減額） Δ <u>9 9. 2</u> 合計（評価前） <u>2 0 8. 4</u> （評価後） <u>1 1 8. 6</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>8 9. 8</u>
28	1 4 頁 R 1 4	大規模改修工事（評価後） <u>4 2</u> （増減額） <u>1 8</u> 改築工事（評価前） <u>1 3 8</u> （増減額） Δ <u>1 2 1</u> 合計（評価前） <u>1 7 3. 1</u> （評価後） <u>6 5. 8</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>1 0 7. 3</u>	大規模改修工事（評価後） <u>5 6</u> （増減額） <u>3 2</u> 改築工事（評価前） <u>1 7 3. 4</u> （増減額） Δ <u>1 5 6. 4</u> 合計（評価前） <u>2 0 8. 5</u> （評価後） <u>7 9. 8</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>1 2 8. 7</u>
29	1 4 頁 合計	（評価前） <u>1 1 2 7. 8</u> （評価後） <u>6 8 4. 8</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>4 4 3. 0</u>	（評価前） <u>1 1 8 0. 2</u> （評価後） <u>7 5 8. 8</u> （増減額＝増減額合計） Δ <u>4 2 1. 4</u>
30	2 1 頁 昭和 3 0 年代に建築 された小学校の表	興本 花畑 西新井第二※	興本 <u>（築）</u> 花畑※ 西新井第二
31	2 2 頁 昭和 3 0 年代に建築 された中学校の表	第十※ 第七※	第十 第七

NO	ページ	変更前	変更後
32	23頁 6～8行目	千住大川端地区では、令和 <u>9</u> 年度末から令和 <u>14年度末</u> の6年間で約2,100戸の住宅供給が予定されているため、近隣の千寿第八小学校、 <u>千寿小学校、千寿常東小学校</u> の児童数、第一中学校の生徒数の増加が予測されます。	千住大川端地区では、令和 <u>11</u> 年度末から令和 <u>16年度</u> <u>中</u> の6年間で約2,100戸の住宅供給が予定されているため、近隣の千寿第八小学校の児童数、第一中学校の生徒数の増加が予測されます。

※ フォント、フォントサイズ、スペース、年号（R→令和）など、体裁の軽微な修正は上記表に含めていません。